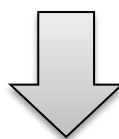


ミルクボランティア事業の進捗状況

現状と課題

収容頭数が多いこと及び飼育管理の困難なことなどから、譲渡できず殺処分される犬猫の大部分を子猫が占めている。
(27年度：殺処分頭数全体の87%，336頭)



28年度の取組み

離乳前の子犬・子猫を一時的に預かり，哺育する市民ボランティア（ミルクボランティア）を公募し，ミルクボランティアによる哺育後，動物愛護管理センターから市民等に譲渡する。哺育期間中の子犬・子猫の健康管理は，福岡市獣医師会が行う。28年度は30頭の哺育を行う予定。

一時預かりの概要



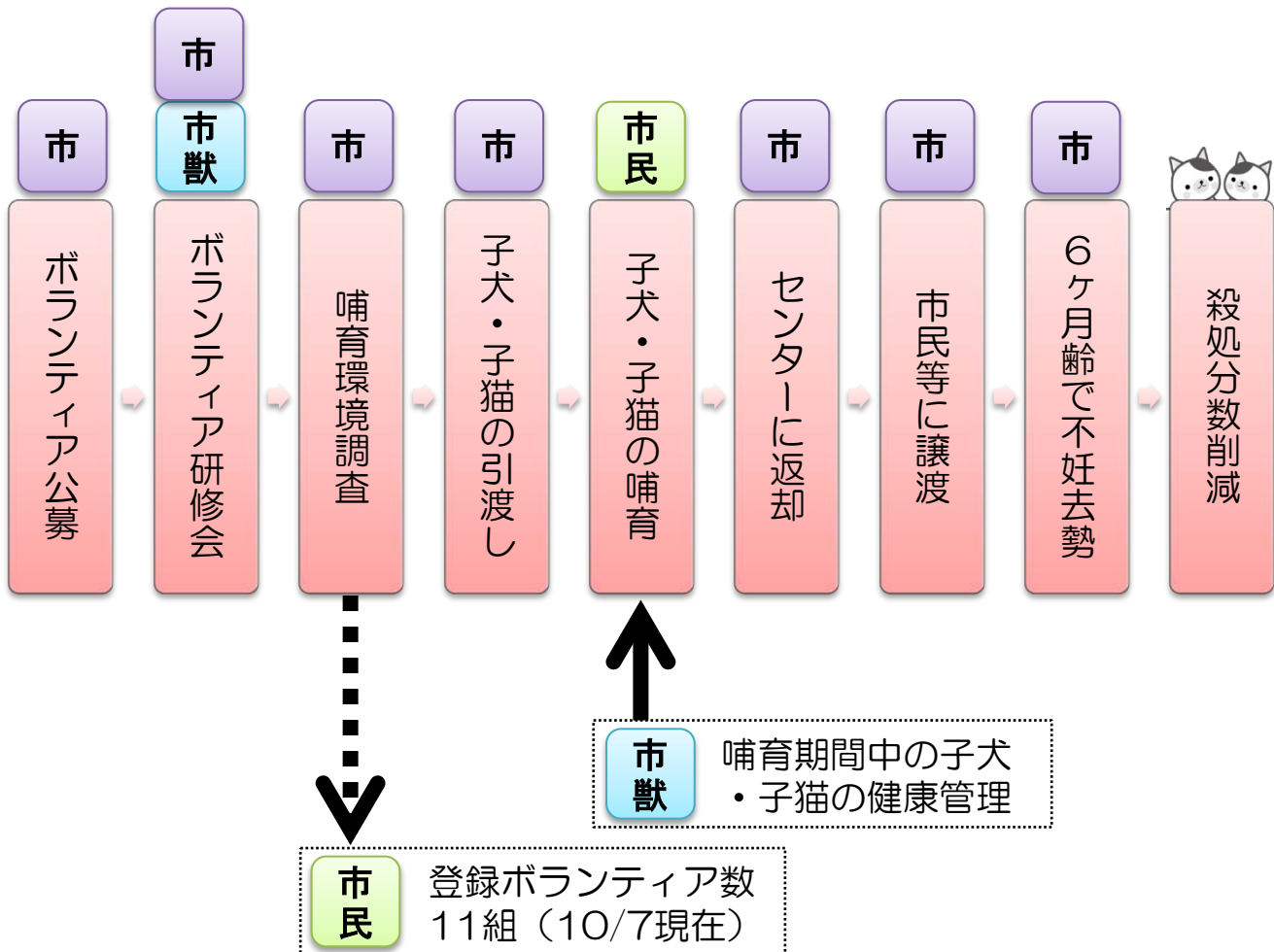
対象：センターに収容された哺乳が必要な子犬・子猫
(およそ1週齢～1か月齢)

期間：おおむね2か月齢に達するまで
(固形フードを自力で十分に食べられるようになる頃が目安)

内容：2～3時間おきの哺乳，排泄の補助，成長の記録，スキンシップ

ミルクボランティア事業の流れ

- 市** : 福岡市が担当
- 市獣** : 福岡市獣医師会が担当
- 市民** : 市民ボランティアが担当



「ミルクボランティア」募集のお知らせ

福岡市動物愛護管理センター（あにまるぽーと）では、收容される犬・猫のうち、ほ乳が必要な子犬・子猫を一時的にご家庭で預かり育てていただく「ミルクボランティア」を募集します。一時預かり期間が終了した子犬・子猫はセンターへお返しいただき、新しい飼い主に譲渡します。

募集期間は平成28年7月4日から7月29日までです。登録までの手続き等については裏面をご覧ください。

【預かっていただく動物】

センターに收容されたほ乳が必要な子犬・子猫（およそ1週齢～1か月齢）

【預かっていただく期間】

おおむね2か月齢に達するまで（固形フードを自力で十分に食べられるようになる頃が目安です。）

【一時預かり中にしていただくこと】

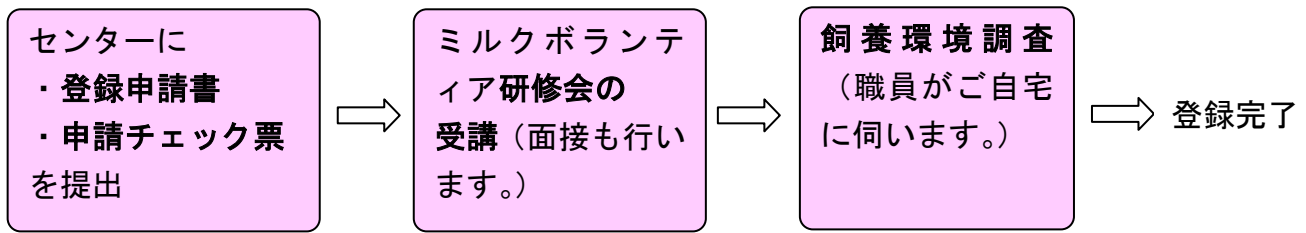
- ◇ 2～3時間おきのほ乳
 - ◇ 排泄の補助（おしりを刺激して、排泄を促します）
 - ◇ 成長の記録
 - ◇ 子犬・子猫の人への順化（スキンシップを通して、人に慣れさせていただきます）
- ※お世話に必要な物資（ミルク、ペットシート、ほ乳瓶など）は支給します。



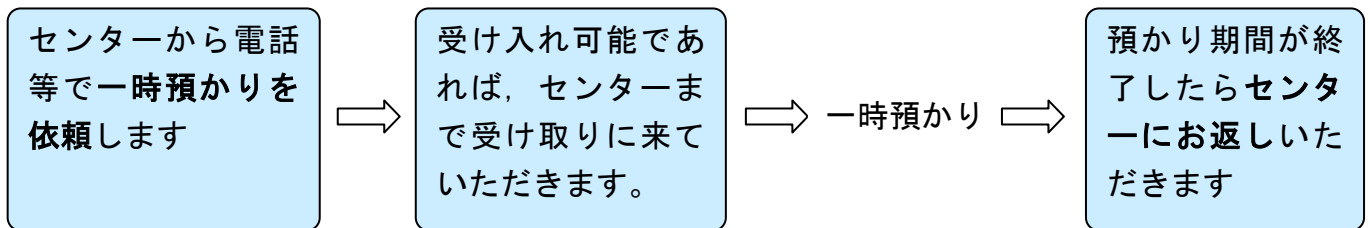
ミルクボランティアに取り組んでいただくには、主に以下のような条件があります。

- 市内または近郊にお住まいであること。
- 子犬または子猫のほ乳経験があること。
- 犬・猫の飼育が認められているお住まいであること。
- 原則として、動物の世話を終日できること。
- ペットを飼っている場合は、ペットの感染症予防（犬・猫へのワクチン接種や寄生虫駆除など）をしていること。
- 成犬・成猫を飼っている場合は、不妊・去勢手術が済んでいること。

◆登録までの手続き



◆一時預かりの手続き（登録後）



◆申込方法

申請書類をセンターに提出してください。（郵送，FAX，e-mail 可）

※申請書類についてご説明しますので、必ず事前にお電話でお問い合わせください。

◆申込〆切 平成 28 年 7 月 29 日（金） 必着

ミルクボランティア研修会・面接

【日 時】 平成 28 年 8 月 6 日（土） 13:00～（2時間程度）

【場 所】 福岡市東部動物愛護管理センター（あにまるぽーと）
（東区蒲田 5 丁目 10-1）

【内 容】 センター概要説明，活動内容説明，面接

※実技，実演は行いません。

【申込・問合せ】

〒813-0023

福岡市東部動物愛護管理センター
（あにまるぽーと）

TEL : 092-691-0131 FAX : 092-691-0132

mail : dobutsukanri.PHWB@city.fukuoka.lg.jp